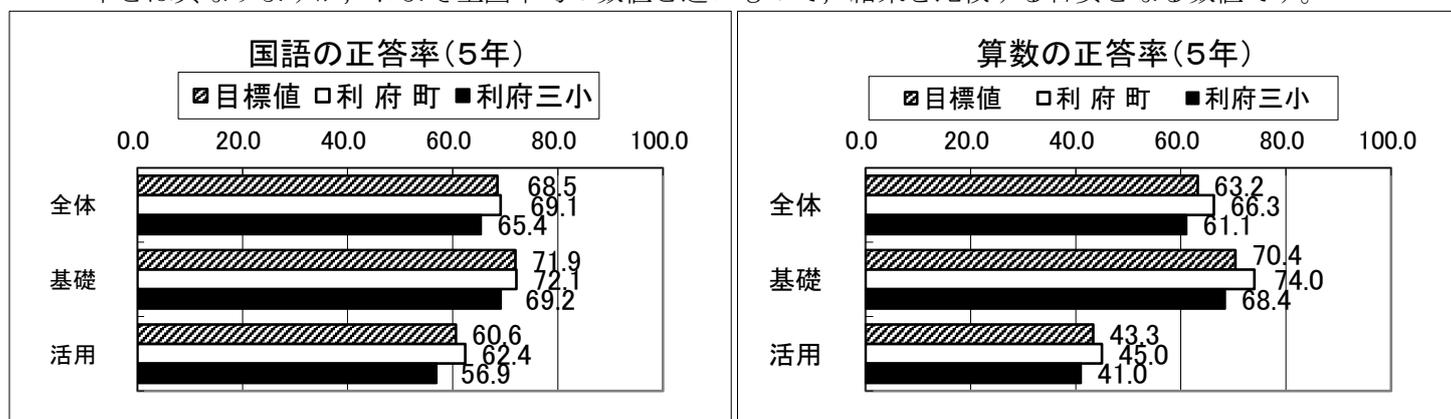


令和3年度 標準学力調査の結果（5学年）

12月に行われた標準学力検査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉をかけていただければと思います。

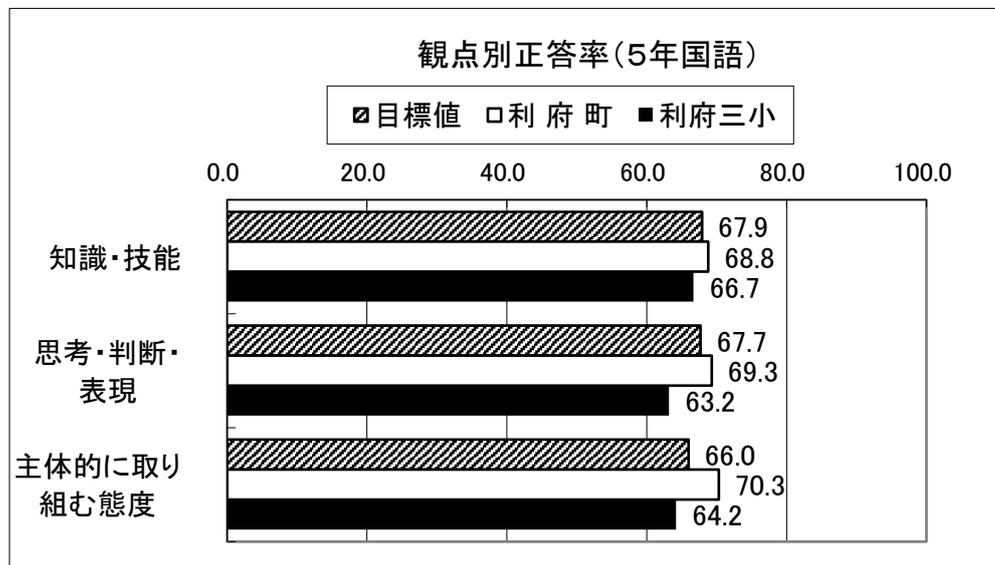
学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で3.1ポイント、基礎力で2.7ポイント、活用する力で3.7ポイント目標値を下回り、課題が見られました。
- ・ 算数については、全体で2.1ポイント、基礎力で2.0ポイント、活用する力で2.3ポイント目標値を下回り、課題が見られました。

【国語】 ◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点

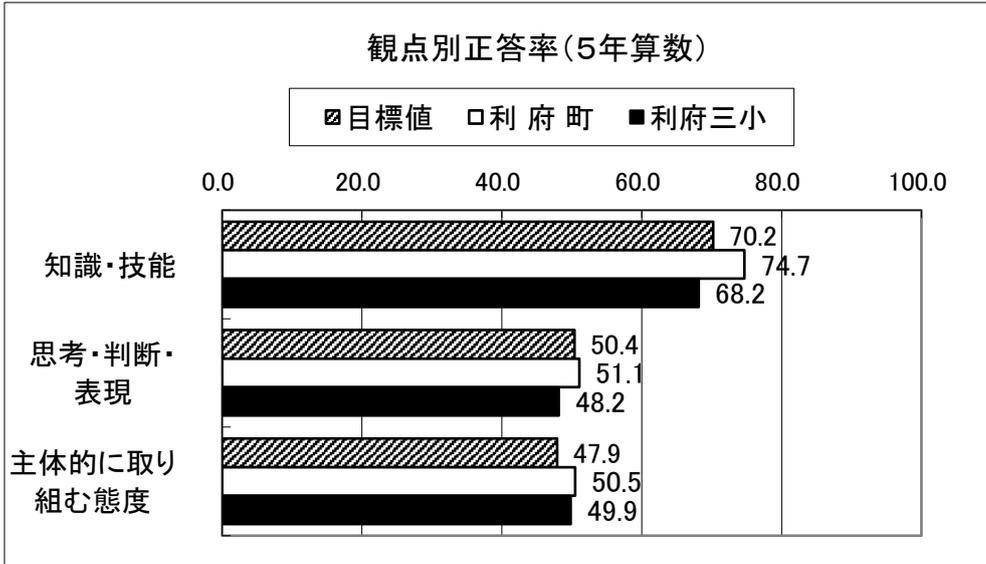


- ◎ 「漢字の読む」「漢字を書く」は、目標値を上回りました。
- 「話し合いの内容を聞き取る」、「かべ新聞を書く」では目標値を下回りました。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」は、目標値をわずかに下回りました。

【算 数】

◎ よくできていた点

● 課題としてあげられる点



◎ 「合同」は、目標値よりも大幅に点数が取れていました。

◎ 「主体的に取り組む態度」が、目標値よりやや上回りました。

● 「分数と小数」、「平均」は、目標値を大きく下回りました。

● 「知識・技能」、「思考・判断・表現」は、目標値を下回りました。

今後の取組

- 国語・友達の見解や発表をよく聞き、自分の感想を持って、それを発表させる機会を増やします。
- ・学習感想をこれまでよりも詳しく丁寧に書くように指導します。
- 算数・「分数と小数」では、通分と約分が身に付いていない児童が多かったです。計算プリントに取り組むことで、基礎の定着を図ります。
- ・「平均」では、問題の意味を正しく捉えられない児童が多かったです。文章問題に取り組むときには、聞かれていることや大切な言葉に下線を引かせたり、印を付けさせたりしながら問題を解かせます。
 - ・コース別学習を行い、個に応じた指導を行います。

個人票『あなたの結果』の見方

①教科正答率 (%)

すべて正解の場合は100.0%になります。お子さんの数値と目標値(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の「児童のみなさんへ」の文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

②内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別に正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲だった内容は十分に身につけていないことを表しています。

表の下にはお子さんへのアドバイスがあります。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

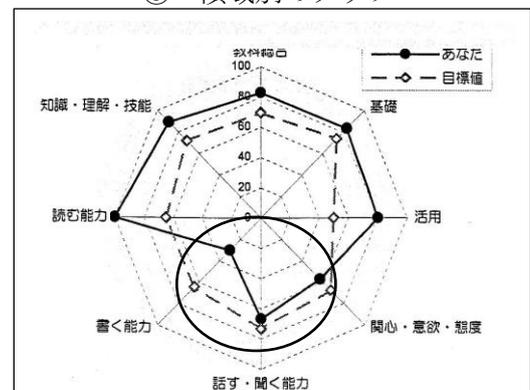
(例) 小学校1年 さんすう

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
20までのかず	80.0	82.5	○
たしざん	87.5	77.9	◎
ひきざん	65.4	81.4	▲
総合	78.5	79.5	○

▲の評価であるひき算の学習が確実に身につけていないことがわかります。

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。